

卓話

平成 20 年 1 月 29 日

『愛と人生の歌シャンソン』

かとうしゅうじ  
加藤修滋様

<プロフィール>

名古屋市出身。愛知県立大学社会福祉学科卒。  
シンガー・ソングライター、ポピュラー・ピアニストとして国内外のビッグ・アーティストと共演・楽曲提供。シャンソンの法定訳詞家としても知られ、フランス芸術文化勲章はじめ多くの海外受賞歴を持つ。  
アリアンス・フランコフォン日本代表、日仏シャンソン協会日本支局長、ミュージック・オフィス<エルム>代表。  
現在「月刊なごや」にエッセイ連載中。



- 1972 年 4 月 「軽音楽家の集い mss」 結成 音楽監督就任
- 7 月 名古屋巴里祭(美輪明宏と若手歌手のフェスティバル) プロデュース 以降毎年開催
- 1980 年 2 月 mss 会館小劇場建設
- 1982 年 8 月 アルゼンチン公演挙行。SADAIC より「ブエノスアイレス・タンゴ市民証」授与
- 1987 年 7 月 エルム福祉相談所開設
- 1988 年 7 月 カフェ・コンセール・エルム開設(ミュージック・オフィス<エルム>併設)
- 1989 年 11 月 第 1 回フランス公演 以降毎年フランス公演を行う
- 12 月 パリ AFJC より「日仏文化交流功労賞」受賞
- 1994 年 4 月 「フランス芸術文化勲章ジュヴァリエ」叙勲
- 1995 年 10 月 「第 17 回都市文化奨励賞」受賞
- 1997 年 9 月 ジャクリーヌ・ダノ & 松本幸枝ワールド・コンサート・ツアーをプロデュース
- アルゼンチン・フランス・日本の 3ヶ国で公演
- 1998 年 12 月 「第 10 回東海テレビ芸能選奨」受賞
- 2002 年 3 月 アリアンス・フランコフォン日本代表に就任
- 6 月 東海ラジオ「音楽万博」(毎週日曜朝 9:45~)エグゼクティブ・プロデューサー (~2005 年 9 月末)
- 2003 年 6 月 オリジナル曲「モネの庭」がクロード・モネ財団より公式イメージソングとして 選定され日英 3ヶ国語 CD がフランスで制作・発売
- 2004 年 5 月 SACEM(フランス音楽著作権協会)より特別功労メダル授与
- シャルル・アズナヴールの提唱でパリに於て祝賀会開催
- 2005 年 3 月 愛・地球博 EXPO ドーム、EXPO ホール等 19 の催事プロデュース・出演
- 10 月 愛知万博メモリアル・デー・コンサートを提唱。毎月 25 日開催継続
- 2006 年 7 月 日本に於ける新しいシャンソン普及・紹介プロジェクト「シャンソン・ルネッサンス」を提唱
- フランスからヴェルムーランを招聘し、ジャパン・ツアー実施

<主な作品と歌唱者>

- ラスト・リサイタル: グラシェラ・スサーナ、菅原洋一、松本幸枝
- モネの庭: ジャクリーヌ・ダノ、ジョー・アン・ピケンズ、岡山加代子
- できごと: グラシェラ・スサーナ、青山桂子、YUKO & ロス・ペペス
- ラブ・シック: じゅん & ネネ、YUKO & ロス・ペペス
- 心の十字架: 菅原洋一、栗本裕子、松本幸枝
- 太陽の誘惑、アンコール、歌の生まれる時、愛~かけがえのない道(ミッシェル・フューガン): 浜崎久美子
- 愛の響き~人生はアズナヴールの歌と共に~(マリー・ラザロ)
- ノスタルジック(ヴェルムーラン): 浜崎久美子
- スカーフ(モーリス・ファノン): 黒川泰子
- シャントゥ(ミッシェル・フューガン): 岡山加代子
- あなたのページ(メリッサ・マルス)/思い出を消せるなら(ナターシャ・サン・ピエール): 橋本奈央子

■所属事務所: ミュージック・オフィス<エルム> TEL 052-733-0085 FAX 052-733-9498  
mail@chanson-japonaise.com